

湯布高原コンサート2020

華麗なるピアノトリオ

～儀 絵里子・堀 沙也香・高橋 多佳子～

白い椿のようなミューズたち



儀 絵里子 (ヴァイオリン) © Yoshinori Kurosawa



堀 沙也香 (チェロ) © 堀田力丸



高橋 多佳子 (ピアノ)

© Shinichiro Saigo

2020年 3月14日(土) 18:00開演
(17:30開場)

湯布高原ゴルフクラブ 2階 レストラン

- チケット | 入場無料・事前予約制 別荘オーナー様、ゴルフ会員様 100組200名をご招待
応募多数の場合は厳正な抽選の上、招待券の発送をもって当選の発表とさせていただきます。
- 主催 | 湯布高原株式会社 湯布高原ゴルフクラブ・湯布高原別荘管理事務所
- 注意事項 | 未就学児以下のご入場は、ご遠慮下さい。

お問合せ

湯布高原株式会社 ☎0977-84-4300



磯 絵里子

Eriko Iso (Violin)

桐朋学園大学卒業後、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学し、修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。ソリストとして日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、チェコフィル、フランダース放送響他国内外のオーケストラと多数共演し、「知性と感性と技術の実力派」と高い評価を得る。宮崎国際音楽祭へは毎年参加、「題名のない音楽会21」「アインシュタインの眼」「クラシック倶楽部」ほかテレビ・ラジオ出演も多く、2010年よりFMヨコハマ「磯絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務めている。

ソロ活動に加え、「デュオ・プリマ」「EnsembleΦ(ファイ)」「椿三重奏団」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。一財)地域創造公共ホール活性化支援事業登録アーティストとしてアウトリーチ活動にも積極的に参加している。デビュー以来10枚のCDをリリース。洗足学園大学講師として後進の指導にもあたっている。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。

<https://erikoiso.jp/>

堀 沙也香

Sayaka Hori (Cello)

7歳よりチェロを始める。松波恵子、岩崎洸両氏に師事。

東京音楽大学付属高等学校、同大学を卒業。在学中7年間、特待生奨学金を受ける。

第76回読売新人演奏会に出演。その後、桐朋学園大学院大学にてさらに研鑽を積む。在学中、秋山和慶指揮・桐朋アカデミーオーケストラとコンチェルトを共演。

NHK-FMリサイタル、毎日新聞主催小児ガン制圧チャリティーコンサート、JTが育てるアンサンブルシリーズ、山陽放送チャリティーコンサートをはじめ、数々の演奏会に出演。

倉敷音楽祭、沖縄国際音楽祭、イタリアに於けるシュラーン国際音楽祭、京都国際音楽学生フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャパンなどにも参加している。

2011年より各年で父・堀了介と共に中国より招聘され、大連・瀋陽にて演奏会を開く。

これまでに、父とのデュオCD『花のワルツ』、『アヴェ・マリア』をリリース。

e-onkyo musicより、ハイレゾ・マスター録音アルバム『堀沙也香「ハイレゾで聴くチェロの豊潤な響き」』をダウンロード配信中。

東京チェロアンサンブルメンバー。



高橋 多佳子

Takako Takahashi (Piano)

第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位、第6回ポルト市国際音楽コンクール第2位、第3回ラジヴィウ国際ピアノ・コンクール第1位、第22回日本ショパン協会賞などを受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。その後10年間にわたりポーランドで研鑽を積む。国立ワルシャワフィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響など国内のほとんどの主要オーケストラと共演を重ねる。既に20タイトルのCDをリリース、《ショパンの旅路》、《ラフマニノフ：ピアノソナタ 第2番&ムソルグスキー：展覧会の絵》(オクタヴィア)など多くが“レコード芸術誌特選盤”となる。2015年刊行の《ショパンの本》(音楽之友社)ではDVDでのピアノ演奏を担当し、発売と同時に大きな話題となった。2019年12月には待望の「ショパン：ピアノ協奏曲第1番」と新録音からなる通算20枚目となるショパン・アルバムがオクタヴィアレコードよりリリース。

2010年から「茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会」全国ツアーに参加。

浜離宮朝日ホールでのリサイタルシリーズ《ショパンwith フレンズ》(全4回)、《名曲達の饗宴》(全3回)は、各回ともに優れた企画と高い音楽性で絶賛を博した。

ソロ活動の他に、宮谷理香とのピアノ・デュオ「デュオ・グレイス」、磯絵里子(Vn)新倉瞳(Vc)との「椿三重奏団」としても活動。「椿三重奏団」としては2020年2月にデビューCD(アールアンフィニ・レーベル)をリリース。

ヨーロッパの著名な国際音楽祭への出演や、中国での公演、ポーランドの《青少年のためのショパン国際コンクール》、ロシアの《ラフマニノフ国際コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的なキャリアも築いている。

“Facebook” <https://www.facebook.com/takakoChopin1990>